

消 防 救 第 5 7 号  
平成 30 年 3 月 30 日

各都道府県消防防災主管部(局)長 }  
東京消防庁・各指定都市消防長 } 殿

消防庁救急企画室長  
(公 印 省 略)

救急年報報告における調査項目の取扱いについて(通知)

平素より、救急行政の推進につきまして御尽力いただき御礼申し上げます。

さて、救急年報報告については、消防組織法第 40 条に基づき報告を受けているところですが、「平成 29 年度救急業務のあり方に関する検討会」において、救急統計の見直しについて検討しました。

本検討会の結果を踏まえ、救急活動に関する現状を的確に把握するため、救急年報報告(活動事案毎データ)における既存調査項目の取扱いについては、別紙1のとおりとします。

また、平成34年度以降(平成33年分データ以降)の救急年報報告における調査項目の変更については、別紙2のとおりとします。

各都道府県消防防災主管部(局)長におかれましては、貴都道府県内市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対して、この旨周知していただきますようお願いいたします。

<問合せ先>

消防庁救急企画室

担当：小久江・小川・石坂

TEL：03-5253-7529

FAX：03-5253-7532

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

## 救急年報報告(活動事案毎データ)における既存調査項目の取扱い

救急年報報告(活動事案毎データ)における既存調査項目の取扱いについては、以下のとおりとする。

## 1 現場到着時刻

現場到着時刻については、「救急隊が災害現場に到着した時刻」をいうが、「災害現場に到着した時刻」とは「救急車が停車した時刻」とする。

## 2 現場出発時刻

現場出発時刻については、「救急車が現場を出発し、走り始めた時刻」をいうものであり、「受入医療機関が決定した時刻」ではないこと。

## 3 病院収容時刻

病院収容時刻については、「医師に傷病者を引き継いだ時刻」をいうものであり、「病院到着時刻に1分を足し上げた時刻」ではないこと。

なお、引継ぎについては、医師と傷病者が接触した時点で医師の管理下に入り、処置等が開始されることから、医療機関においては、「医師と傷病者が接触した時点」とする。

また、医師の指示を受けている看護師が医療機関のプロトコルに基づきトリアージを行った時点、又は医師から具体的な指示を受けている看護師に引き継いだ時点においても病院収容とみなす<sup>\*</sup>こととしている。

ドクターカーやドクターヘリにより傷病者を搬送した場合は、傷病者を車両あるいは機体に収容した時刻を病院収容時刻とする。

<sup>\*</sup>「救急年報報告における時間項目の取扱いについて」(平成21年3月2日付け消防救第11号消防庁救急企画室長通知)

## 4 初診医による重症度評価

初診医による重症度評価については、「初診時」における医師の診断に基づき分類するものであり、「確定時」における医師の診断に基づくものではないこと。ただし、初診時において診断が判明しない場合は、「確定時」における診断でも差し支えない。

## 5 疾病分類

疾病分類については、初診医による重症度評価と同様に、「初診時」における医師

の診断に基づき分類するものであること。ただし、初診時において診断が判明しない場合は、「確定時」における診断でも差し支えない。

## 救急年報報告における調査項目の変更について

## 1 定点観測データ

## (1) 救急艇・軽救急車

報告年の4月1日現在の各設備保有数を計上する。(数値入力)

## (2) 准救急隊員

報告年の4月1日現在の准救急隊員数を計上する。(数値入力)

## (3) 救急ワークステーション

報告年の4月1日現在の業務実施形態(病院派遣型、施設設置型)別に数を計上する。(数値入力)

## 2 活動事案毎データ

## 【出動情報1】

## (4) 大規模イベント

1,000人以上が集まる大規模イベントに救急出動した場合に入力する。「はい」「いいえ」を選択。「はい」を選択の場合に任意としてイベント名等を入力する。

## (5) 走行距離(距離情報)

項目追加なし。入力を任意項目から必須項目とする。また、単位を「百m」から「km」に変更する。

## 【出動情報2】

## (6) 不搬送理由の定義

新たな不搬送理由を以下のとおりとする。(以下の8項目から選択する。)  
辞退(到着前)、辞退(到着後)、拒否、明らかな死亡、他車(隊)搬送、傷病者なし、誤報・いたずら、その他

## (7) 出場隊員

ア 自隊隊員数【項目削除】

イ 救急救命士搭乗の有無を入力する。「あり」「なし」を選択。「あり」の場合に救急救命士の人数を入力する。

ウ 救急救命士資格状況を入力する。

ビデオ喉頭鏡、気管挿管、アドレナリン投与、ブドウ糖投与、CPA前静脈路確保、未認定(該当するものをチェック)

エ 准救急隊員搭乗の有無を入力する。「あり」「なし」を選択

## 【傷病者情報1】

(8) 搬送区分 現場処置のみ(不搬送理由変更によるもの。)**【項目削除】**

(9) 複数傷病者発生事案

1つの事案において2台以上の救急車で傷病者を搬送した場合に入力する。  
(「はい」「いいえ」を選択)

(10) 傷病者年齢

傷病者の年齢が0歳かつ日齢が6日以内の場合に入力する。(該当する場合にチェック)

(11) 外国人

該当した場合、「国籍」を選択。更に「訪日」「在日」「不明」いずれかを選択する。

(12) 介護情報(65歳以上対象)

傷病者が日常的に介助を必要とするか、「はい」「いいえ」「不明」を選択する。  
(該当するものにチェック)

**【傷病者情報2】**

(13) 事故原因器物

項目名「なし」を追加。入力を任意項目から必須項目とする。

**【傷病者情報5】**

(14) 応急(救急救命)処置内容

静脈路確保を実施(成功)した場合に「ブドウ糖投与」「CPA前」「CPA後」のいずれかを選択する。(該当するものにチェック)

**【傷病者情報6】**

(15) 医療機関受入照会時間(選定経過-選定所要時間)

医療機関受入照会開始時刻から受入先が決定するまでの時間を入力する。  
(数値入力)

(16) 医療機関受入困難理由(選定経過-選定結果)

「円滑」「支障」を選択する。「支障」を選択した場合に、医師不在、手術中・患者対応中、専門外、ベッド満床、処置困難、初診(かかりつけ医なし)、理由不明・その他を選択し、それぞれに受入れに至らなかった回数を入力する。

(17) 救急搬送の必要性が低かった事案

入力要領に示すフローチャートに沿って、「救急搬送の必要性が低かった事案」に該当した場合に入力する。(該当した場合にチェック)

**【傷病者情報7】**

(18) 傷病名(急病以外のけが)

必須項目とする。

(19) 熱中症

初診時で、熱中症と診断(疑いを含む。)された傷病者を搬送した場合に入力する。(該当した場合にチェック)

### 3 ウツタイン情報

#### 【ウツタイン情報1】

(20) 救急救命士資格認定状況を入力する。

気管挿管、ビデオ喉頭鏡、アドレナリン投与、ブドウ糖投与、CPA前静脈路確保、未認定(該当するものにチェック)

(21) バイスタンダーCPR(AEDを含む。)

ア 胸骨圧迫

ありの場合に胸骨圧迫開始時刻を入力する。

イ 人工呼吸

ありの場合に人工呼吸開始時刻を入力する。

ウ AED

現場にAEDがあった場合に「パッド装着」「パッド未装着」を選択する。「パッド装着」を選択した場合は以下を入力する。

(ア) 除細動適応

除細動実施の場合、実施時刻と実施回数を入力する。

(イ) 適応外

(ウ) 不明

理由を記載する。

#### 【ウツタイン情報2】

(22) 時間項目※任意項目・新規項目とし、※以外はすべて必須項目とする。

ア 覚知時刻

イ 現場到着時刻

ウ 接触時刻

エ CPR開始時刻

オ 搬出開始時刻 ※

カ 車内収容時刻

キ 現場出発時刻

ク 病院到着時刻

ケ 病院収容時刻

(23) 非心原性(ウツタイン:非心原性区分) ※新規項目

ア 脳血管障害

イ 悪性腫瘍

ウ 大動脈疾患 ※

エ その他内因性 ※

オ 窒息

- カ 中毒
- キ 溺水
- ク 低体温
- ケ アナフィラキシー
- コ 縊頸 ※
- サ その他外因性
- シ 交通外傷
- ス その他外傷 ※

(24) 転退院日

1か月以内に転退院した場合に転退院した日付を入力する。(数値入力)

(25) 心肺蘇生の希望なし

任意項目として追加する。(該当した場合にチェック)

なお、追加(削除)調査項目新旧対照一覧表を添付いたします。

**【参考】**

改修スケジュール

平成30年6月以降	<u>消防庁及び消防本部において予算要求</u>
平成31年4月以降	消防庁においてシステム改修
平成31年4月以降	消防本部においてシステム改修
平成32年4月以降	消防庁において報告要領改訂
<u>平成33年1月1日</u>	<u>新調査項目による救急オンラインシステム運用開始</u>
平成34年5月末日	新調査項目による救急年報報告(平成33年中の事案)

追加(削除)調査項目新旧対照一覧表									
	システム ページ番号	現行システム			新システム			備考	
定点 観測 データ	1	01表	救急艇・軽救急車	新システムより追加	救急艇・軽救急車	報告年の4月1日現在の各設備保有数を計上(数値入力)			
	2	02表	准救急隊数		准救急隊数	報告年の4月1日現在の准救急隊員数を計上(数値入力)			
	3	03表	救急ワークステーション		救急ワークステーション	報告年の4月1日現在の業務実施形態(病院派遣型、施設設置型)別に数を計上(施設の数値入力)			
出動 情報	4	1	大規模イベント	新システムより追加	大規模イベント	1,000人以上が集まる大規模イベントに救急出動した際に入力する。「はい」「いいえ」を選択 「はい」を選択の場合、イベント名等を任意で入力		必須項目とする。	
	5		走行距離	項目は設置済み。入力の数値を入力、単位は百m	走行距離	単位をkmに変更		必須項目とする。	
	6		不搬送の定義	拒否	不搬送に該当した場合、必須項目となり、 8項目から選択	不搬送の定義	辞退(到着前)	新規	現行システムの「現場処置」がなくなるため、 傷病者情報にある搬送区分「現場処置」の項目が削除される。
				傷病者なし			辞退(到着後)	新規	
				死亡			拒否		
				誤報・いたずら			明らかな死亡	新規	
				酷訂			他車(隊)搬送	新規	
				緊急性なし			傷病者なし		
				現場処置			誤報・いたずら		
	その他	その他							
7	2	出場隊員	出場隊員数		出場隊員	出場隊員数	変更なし		
			自隊隊員数		自隊隊員数	削除			
7		出場隊員  救急救命士搭乗 (「あり」「なし」を選択、「あり」の場合、 右の4項目から選択)		(気)・(薬)認定救急救命士	救急救命士搭乗(「あり」「なし」を選択、ありの場合、 救急救命士の人数及び該当の資格認定状況を チェック)	救急救命士	人数入力(数値入力)	救急救命士をありと選択した場合、人数及び 資格認定状況が未入力であればエラーとなる。	
				(気)認定救急救命士			ビデオ喉頭鏡		
				(薬)認定救急救命士			気管挿管		
				その他の救急救命士			アドレナリン投与		
							ブドウ糖投与		
							CPA前静脈路確保		
			未認定						



		システムページ番号		現行システム		新システム		備考			
傷病者情報	8	搬送区分	不搬送理由のうち、現場処置を選択した場合、チェック		搬送区分	削除					
	9	複数傷病者発生事案	新システムより追加		複数傷病者発生事案	1つの事案において2台以上の救急車で傷病者を搬送した場合に入力 「はい」「いいえ」を選択		必須項目とする。			
	10	傷病者年齢	傷病者の年齢を入力(数値入力)		傷病者年齢	傷病者の年齢を入力する。また、年齢が0歳かつ日齢が6日以内の場合にはチェック					
	11	外国人	外国人を搬送した場合は、居住地区分の【その他】を選択		外国人	外国人を搬送した場合は国籍を選択	国籍を選択後、「訪日」「在日」「不明」のいずれかを選択				
	12	介護情報 (65歳以上対象)	新システムより追加		介護情報 (65歳以上対象)	傷病者が日常的に介助を必要とするか、「はい」「いいえ」「不明」を選択		必須項目とする。			
	13	2	事故原因器物	項目は設置済み		事故原因器物	項目に「なし」を追加		必須項目とする。		
	14	5	応急(救急救命)処置内容	静脈路確保を実施した場合、「CPA前」、「CPA後」を選択		応急(救急救命)処置内容	静脈路確保を実施(成功)した場合、「ブドウ糖投与」「CPA前」「CPA後」、を選択				
	15	6	選定経過	選定所要時間	任意項目として設置		選定経過	選定所要時間	医療機関受入照会開始時刻から、受入先が決定するまでの時間を入力 (数値入力)		必須項目とする。
	16			選定結果	選定結果として、「円滑」「支障」を選択し、「支障」を選択した場合、 受入不可理由をチェック 任意項目			選定結果	選定結果として、「円滑」「支障」を選択し、「支障」を選択した場合、受入不可となった 理由の横に不可であった回数をそれぞれ入力(数値入力)		
	17			受入不可理由	回答遅延、処置困難、専門外、ベッド満床、医師不在、手術中、当番 病院ではない、その他、理由不明			受入不可理由	医師不在、手術中・患者対応中、専門外、ベッド満床、処置困難、 初診(かかりつけ医なし)、理由不明・その他		項目変更
	17		救急搬送の必要性が 低かった事案	新システムより追加		救急搬送の必要性が 低かった事案	入力要領に示すフローチャートに沿って、「救急搬送の必要性が低かった事案」に該当した場合にチェック		任意項目とする。		
	18	7	傷病名	急病	事故種別の急病を選択した場合、必須項目		急病	変更なし			
	19			急病以外	任意項目として設置		急病以外	任意項目から必須項目に変更		必須項目とする。	
				熱中症(疑い含む。)	新システムより追加		熱中症(疑い含む。)	初診時で、熱中症と診断(疑い含む。)された傷病者を搬送した場合にチェック			

		現行システム		新システム				備考			
ウツタイン情報	20	資格認定状況	気管挿管		気管挿管						
			アドレナリン投与		ピテオ喉頭鏡			新規			
			β刺激薬投与		アドレナリン投与						
			ブドウ糖投与		β刺激薬投与			削除			
			CPA前静脈路確保		ブドウ糖投与						
	未認定		CPA前静脈路確保								
	未認定		未認定								
	21	バイスタンダーCPR等	あり (心臓マッサージ、人工呼吸、AEDによる除細動いずれかを実施した場合にあり)	心臓マッサージを実施していた場合、CPRを開始した時刻を入力	バイスタンダーCPR (AEDを含む。)	胸骨圧迫	あり	胸骨圧迫開始時刻を入力		胸骨圧迫あり、人工呼吸あり、除細動の実施のいずれかをチェックした場合、自動的にバイスタンダーCPRありにチェックが入る。	
				人工呼吸を実施していた場合、CPRを開始した時刻を入力		人工呼吸	あり	人工呼吸開始時刻を入力			
				AED実施(除細動)をした場合、実施時刻と実施回数を入力		あり (現場にAEDがあった場合)	パッド装着	除細動適応			
適応外								除細動実施(実施時刻と実施回数を入力)			
なし	なし	パッド未装着	不明(理由記載)	除細動未実施							
22	時間項目	必須項目		覚知時刻	必須項目		新規項目				
				現場到着時刻							
				接触時刻							
				CPR開始時刻							
				車内収容時刻					任意項目		
				現場出発時刻					必須項目		
				病院到着時刻							
				病院収容時刻							
				23					非心原性 (ウツタイン:非心原性区分)	非心原性 (ウツタイン:非心原性区分)	
悪性腫瘍											
中毒											
低体温											
アナフィラキシー											
窒息											
溺水											
交通外傷											
その他の外因性											
その他											
24	3	転退院日		1か月以内に転退院した場合、転退院した日付(数値入力)		新規項目					
25	心臓蘇生の希望なし		心臓蘇生の希望なし		該当した場合にチェック		任意項目とする。				